

成果の説明書

| | |
|---|-----------|
| (氏名) 天羽 正継 | (学部) 経済学部 |
| <p>1 重要事項</p> <ul style="list-style-type: none">・本年度に発表された成果は下記の通り。<ul style="list-style-type: none">・「地方債の市場化と多様化」持田信樹・林正義編『地方債の経済分析』第3章、有斐閣、2018年12月。・「地方債の投資家とIR」持田信樹・林正義編『地方債の経済分析』第4章、有斐閣、2018年12月（橋都由加子との共著）。・「福祉を支える政府間財政関係」高端正幸・伊集守直編『福祉財政—福祉+α⑩』第4章、ミネルヴァ書房、2018年9月。・昨年度に引き続き、従来からの研究テーマである日本の地方債の歴史的研究について、主として内務省地方局『地方財政概要』を基に、基礎的な統計データの構築を行った。また、同テーマについて以前より執筆している論文について、加筆修正を行った。・『新・港区史（仮称）』の「税財政」の章の執筆予定者として、2018年12月22日に開催された執筆者会議に出席した。 | |
| <p>2 その他の事項</p> <ul style="list-style-type: none">・ゼミでの成果<ul style="list-style-type: none">・第4期生の卒業論文集を刊行した。・第5期生のサブゼミ論文集「群馬県内の市町村財政分析～藤岡市・神流町・下仁田町～」を刊行した。・2018年7月5日に愛知県立一宮興道高等学校にて、同年11月20日に群馬県立高崎北高等学校にて、それぞれ出前授業を行った。・2018年10月25日に前橋地方合同庁舎にて開催された第6回群馬活性化サロンに出席した。・2019年2月19日に開催された平成30年度第3回渋川市行政改革推進委員会に委員として出席した。 | |
| <p>3 次年度以降の計画・抱負</p> <p>【研究】従来からの研究テーマである日本の地方債の歴史的研究を進めることに注力したい。上記のように、今年度は昨年度に引き続き、基礎的なデータの構築に努めたが、完成には至っていないため、これを完成させることを次年度の目標としたい。なお、上記のように、同テーマについて以前より執筆している論文があるが、その内容を2019年6月に開催される日本地方財政学会第27回大会で報告する予定である。この他に、上記『新・港区史（仮称）』の執筆や、次年度より新たにメンバーとなることが決まった地域科学研究所の研究プロジェクト「地方都市中心市街地研究—人口減少時代におけるまちづくり—」の研究についても取り組んでいく予定である。</p> <p>【教育】ゼミの3年生については今年度と同様、サブゼミとして群馬県内市町村の財政分析をテーマとして取り組む予定であり（次年度の研究対象は富岡市、上野村、甘楽町）、最終的には論文集としてまとめられるよう、自分自身も学びつつ指導を行っていきたい。4年生については例年通り、質の高い卒業論文集の完成を目指して指導を行っていき予定である。</p> | |